

合言葉は「なるほど！」“いつでも どこでも みんなが楽しく”

明日の東野をつくる集い 発足から近況報告

令和2年7月17日

公民館との関わり

関わり年度	役職
H12～H20	体育委員
H21～H23	錦町分館主事
H24～H30	錦町分館長



地域との関わり

H27～R2	大宮通り桜保存会会長
H27～R2	日赤奉仕団東野分団員



取り巻く環境

飯田市の総人口：99,875人

東野地区の総人口：2,833人

公共施設：

JR飯田駅、高速バス飯田駅前発券所、飯田測候所、飯田文化会館、飯田市公民館・教育文化センター、飯田人形劇場、飯田郵便局、飯田年金事務所、飯田税務署、東野自治会館、東野公民館、飯田東中学校、ラウン
ドアウト2か所 (<https://furusato-iida20.jp>)

街中の豊かな自然：大宮通り桜並木、イチョウ並木、中央公園3か所

伝統文化：大宮諏訪神社と東野大獅子保存会、東野地区指定伝統文化の路27か所の施設他

■はじめに

- 平成21年 東京大学大学院と飯田市公民館の共同調査・・・東野公民館と千代公民館が参画。
まちなかの東野公民館と中山間地の千代公民館の利用者や活用状況を比較。
- 平成26年 全戸対象アンケート調査をし、報告会を行う。



■ 発足の足掛かり

「せっかくのデータだから活用しよう」 「何かをやろう！」
⇒ 報告会に集まったメンバーに呼びかけ、集まり、始まりました。



■集いの目的

- ①皆で地域の課題を共有して解決策を語り合う
- ②東野地区の財産を探して伸ばす
- ③有るもの探しの地域おこし
- ④若い世代、女性や子供が参加できる勉強会

■集いの立ち位置

自主的な組織運営を目指し、まちづくり会議・公民館の部会に属さず、研究サークル的な立ち位置を継続しよう。
自立したサークル運営を維持しましょう。
集いが企画して、運営して、実践しましょう。



集いの活動

①「地域の課題を共有して解決策を語り合う」から

- ・大宮通り桜保存会の活動を知ろう
- ・大宮通り桜並木を利用して何かをやろう

第4回 明日の東野をつくる集い
『大宮通り桜保存会の取組みを知りましょう!!』

桜まつり

- いま困っていること。
 - ・雨が降ったとそのこと(対応)
 - ・交通面で、信号無視
 - ・桜を見ながら酒が飲めない
- 良いこと
 - ・子どもを連れて楽しみ。
 - ・雨もさゆいで良マがある
自治会館や公民館で雨天決行も!
 - ・東野の大きな財産
- ◎ こうしたらどうか
 - ・土日開催はどうか
 - ・発表の場として発展させたら
 - ・助成の充実
 - ・保存活動に関わった人の文集を作成
 - ・写真の展示
 - ・地元の人が出てくるように誘い合ったら
 - ・石碑を見直せたらいい
 - ・ごさも敷いて酒飲みたい
 - ・東野地区のお花見大会の開催

次回

今日の続き
(組織のあり方検討)
4/22(金)
19:00~

・リビ並木と同じようにイベントで盛り上げたいなら
・イルミネーション

・組織強化を目指す
・しっかりと組織を
・東野に留まらず、丘の上全体が
桜並木の保存に関わったら

大宮井筒 年四十坂中 副産

② 「アンケートを活用しよう！」から

- ・空き家が増えてしまった
- ・子供、若者が少ないのではなく、いなくなった
- ・郷土料理の紹介
- ・神社、仏閣など史跡をクローズアップ
- ・女性の自治会への参加
- ・子供同士の交流、若者と年配者との交流
- ・アンケートをもとに千代公民館と交流をしましょう

5/19(木) 19:00~

第6回 明日の東野をつくる集い

『世代交流のあり方』

- ・若い世代との交流が減っている
- ・交流できる行事を増やす。情報発信。
- ・育成部事業での縦のつながり。
- ・育成を過ぎた世代はどうする。
- ・青壮年会、消防団
- ・上郷丹保の人形劇(育成部)

人形劇 お祭り
文化祭

地域で学び合う
気風

やまいき

PTA活動

ボランティア

↳ きっかけで子供が地元に戻ってきた。
H27オリジナル企画 親と子、地元出身大学生

天野町 青年四十周年記念



○千代地区との交流会を実施

日時：6月30日

開場：飯田市千栄 民宿 宮のまえ

内容：わらび採り合戦

⇒ 「女性や子供たちがたくさん参加できることを考えよう」

○フリーマーケットを実施

- ・平成28年11月 東野公民館でフリーマーケット
- ・平成29年4月 大宮通り桜まつりでフリーマーケット
- ・平成29年11月 大宮神社でフリーマーケット

東中学校のりんごの加工品、
柏原地区の越冬野菜の販売

- ・平成30年4月 大宮通り桜まつりでフリーマーケット

ご当地グルメの製造・販売

- ・平成31年4月 大宮通り桜まつりでフリーマーケット
(基本構想第1部会に移行準備)
- ・令和元年11月 大宮神社フリーマーケット
(基本構想第1部会に完全に移行)



■活動をして 良かったこと

- ・フリーマーケットが形になった
- ・多世代交流の場を作れた
- ・地域の人が喜んでくれた（笑顔にあふれた）
- ・フリーマーケットの参加者が増えてきた



OIDE長姫高校の地域人教育の生徒が、運動会、フリマ、桜並木イルミネーション点灯式にご当地グルメ芋もちを作って参加しました。

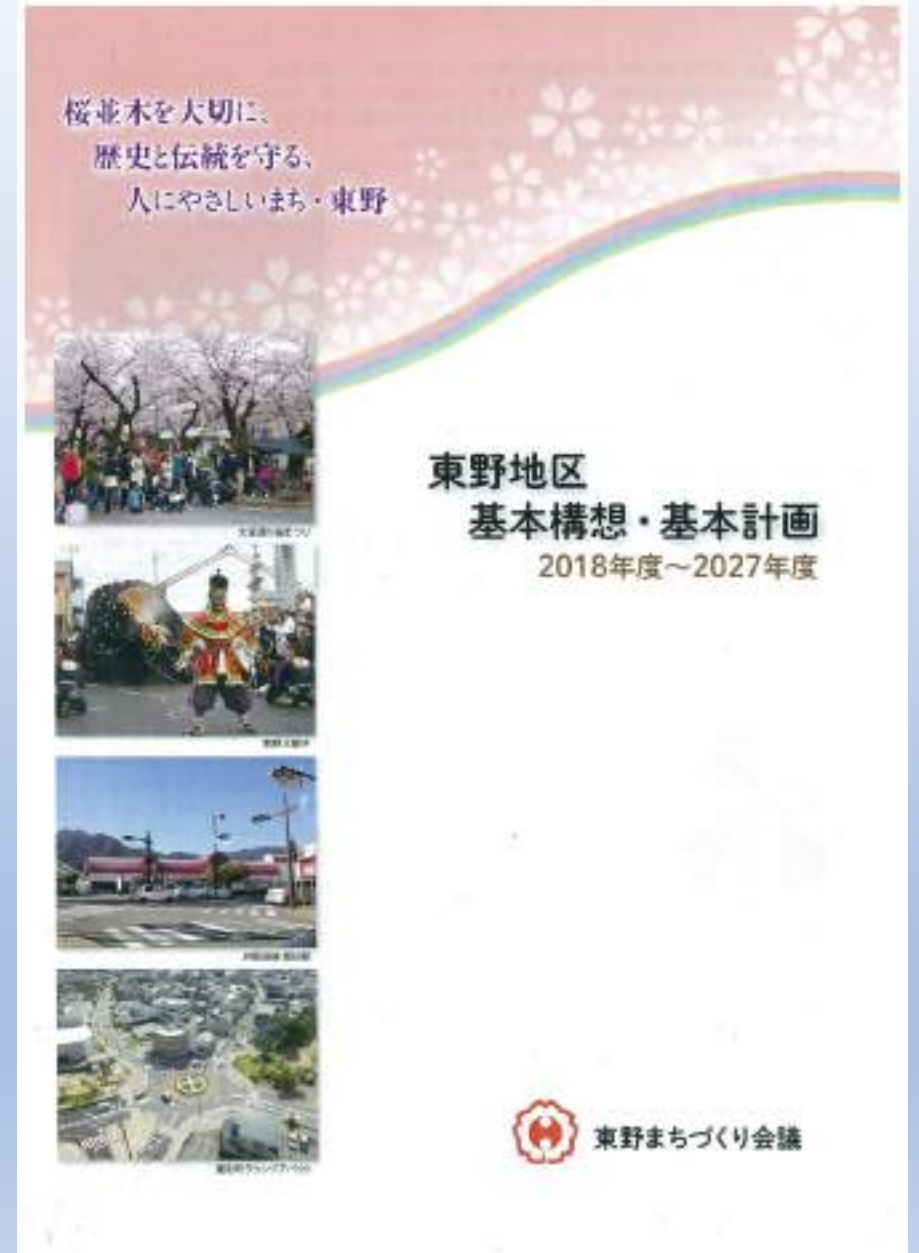


フリーマーケットに高校生ボランティアが参加しました。

悩み

- ・ 目的を見失う
- ・ 集いの存在意義

⇒ 継続していくことの難しさを痛感



■集いのこれから

これからの方向性を決めました。「自分たちができることを考えよう！」

○春休みこども寺子屋教室（令和2年3月23日、24日、25日）

【取り上げられた提案】

- 高森町のモッコ作成を見学します。
- 松川町のアフリカンドラムのを体験します。
- JR飯田線の子供たちに紙芝居で紹介します。ばんそうこうでの傷の手当をします。
たくさんの提案が取り上げられました。

メンバーの強みをそれぞれに提案



憩いのひと時、夢を語り合いました

私たちには夢があります
地域の人が「良いことを
やったね」と言う。私たち
を前進させる言葉です。
私たちは楽しみながら前進
します。



ご清聴ありがとうございました。